

科目名	作業療法評価学（精神障害）	担当教員	松田 竜幸 泊り 由希子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	-------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR22ABDE	①、②、③、④					

科目概要	精神障害に対する作業療法評価は「援助のための理解」を目的に行われる「質的評価」が主となる。対象者の活動や参加、環境を評価する。一方、他の障害と同様に、援助の基準、内容を決めるために「量的評価」も必要である。本講義ではこれらを踏まえ、各疾患の評価の進め方、精神障害における評価の特徴、評価尺度について学習していく。
学習目標	① 精神障害領域における作業療法評価の意義について説明できる。 ② 精神障害領域の質的・量的評価の重要性が説明でき、演習を通じて臨床イメージができる。 ③ 作業療法評価計画を立案し、計画の重要性について説明できる。

回	項目	主な学習内容	学習目標	実務経験 教員担当 項目
1	精神障害作業療法の概要	オリエンテーション 精神科作業療法の流れ、精神科作業療法の評価、情報収集、各評価項目について	評価について考え、人的環境を中心に、物理的、制度、サービスなど精神障害の生活環境を理解する。	
2	作業療法評価の実際1	面接の基本知識と注意点	面接を実施するにあたり、その基本的な構造と必要な注意点について理解し、具体的に面接を進める手順を説明できる。	
3	作業療法評価の実際2	観察の基本知識と注意点	観察項目を列挙し、場面の状況による影響を理解した上で、観察内容の結果を整理できる。	
4	疾患別による評価1	疾患別による評価観察の基本知識と注意点(1) 統合失調症・気分障害・アルコール依存症・てんかん他	各疾患の特性や注意点に合わせた評価を理解する。	
5	疾患別による評価2	疾患別による評価観察の基本知識と注意点(2) 神経症性障害・摂食障害・パーソナリティ障害・自閉スペクトラム障害他	各疾患の特性や注意点に合わせた評価を理解する。	
6	症例評価計画立案	模擬的に症例評価の計画を立案する。	設定された条件下で模擬的な対象者に対しての評価計画の立案を立てることができる。	
7	症例評価計画立案	模擬的に症例評価の計画を立案する。	入手した情報の整理と分析を行える。	
8	まとめ	評価結果や治療目標立案を発表 評価結果の表現・視点・分析への質疑応答	入手した情報の整理と分析を経た評価結果を発表し自分の考えを伝えることができる。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		授業をとおしてフィードバックする。		
教科図書		教員作成教材		
参考図書		山根寛・著『精神障害と作業療法 新版』三輪書店、2017年 上野 武治・著『標準理学療法・作業療法学 精神医学第4版増補版』医学書院、2021年 香山明美、他・編『生活を支援する精神障害作業療法―急性期から地域実践まで― 第2版』医歯薬出版株式会社、2014年 石井良和、他・編『精神障害領域の作業療法』中央法規、2010年 早坂友成・編著『精神科作業療法の理論と技術』メジカルビュー社、2018年		

学習の準備	予習：参考図書に目を通し、こういった事柄が重要視されているのか考える機会とする。(90分) 復習：講義で理解できた内容と、理解が不十分な内容を整理し、自主学習、担当教員への質問の準備を行う。(90分)
オフィスアワー	毎週水曜日 16:20~17:50。その他は、随時対応する。
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	